

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用		担当課	担当課評価			
細 施 策	①文化財の保護と活用		文化財保護課	B			
施策の内容	・私たちの貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えていくために、文化財調査等の実施を通して隠れた貴重な文化財を見だし指定します。 ・文化財の保護に努めるとともに、文化の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・地域の文化財をその周辺環境も含め、総合的に保存活用していくための基本構想を策定します。						
平成23年度実績	・指定文化財数:252件(前年度比101%) ・埋蔵文化財調査件数 発掘調査件数:12件(前年度比133%) 試掘調査件数:86件(前年度比146%) ・その他文化財調査件数:3件(前年度比43%) ・埋蔵文化財出土品貸出件数:7件(前年度比88%)						
指標及び説明	【指標】 指定文化財数	【説明】 市、県、国指定等文化財数					
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	件	246	250	252			255
評価の理由	・指定文化財として新たに2件が指定され、展示公開されました。 ・出土品の他市等への貸出はありましたが、学校の事業への活用は進みませんでした。しかし、埋蔵文化財の試掘調査・発掘調査は、前年度に比べ増加し記録保存が図られており、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	・埋蔵文化財の活用にあたり、学校との連携を図り、出土品の貸出や出前講座等を推進します。 ・市内の文化財を総合的に保存活用するため、歴史文化基本構想の策定作業を進めます。						

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用		担当課	担当課評価
細 施 策	②文化財保護意識の啓発		文化財保護課	C
施策の内容	国民の財産である文化財の価値を市民に周知し理解を深めるために、文化財保護意識の啓発に努めます。			
平成23年度実績	・最新遺跡発表会参加者数:61人(前年度比72%) ・文化財防火訓練参加者:115人(前年度比107%) ・職員の講師派遣:10回(前年度比32%)			
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23
	最新遺跡発表会参加者数(人)	84	85	61
	啓発用刊行物の新規・改訂刊行数(件)	3	0	0
評価の理由	防火訓練参加者は増加しましたが、最新遺跡発表会参加者が減少し、職員の講師派遣回数も減少しました。また、啓発事業は実施していますが、参加人数・講師派遣回数の減少がややあり、進捗はあまり順調ではありません。			
改善の方策等	・啓発事業の開催等に関わる広報をより広く展開します。 ・文化財保護活動団体や学校等と積極的に協働を図りながら、文化財保護意識の啓発に努めます。			

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施策	③民俗文化財の保存と後継者の育成			文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財を地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援協力します。 後継者養成を積極的に支援します。 				
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越氷川祭の山車行事保存会の開催回数:4回(前年度比100%) 博物館民俗芸能実演会:1回(今福囃子連中の川越まつり囃子)(前年度比100%) 民俗文化財保存修理の補助事業件数:3件(前年度比100%) 無形民俗文化財後継者養成の補助事業実施団体数:17団体(前年度比94%) ※1 補助事業で保存修理された民俗文化財件数/民俗文化財件数×100(民俗文化財件数は、民俗芸能又は行事の有形文化財又は道具の件数とする。) ※2 補助事業で後継者養成事業を実施した団体数/無形民俗文化財保存団体数×100				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	民俗文化財保存修理率(%)※1	8	8	8	
	後継者養成事業実施団体率(%)※2	100	100	94	
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の保存継承に必要な会議や実演会を実施しました。また、継承していくために必要な用具等の保存修理を計画的に進めました。 後継者養成事業については、補助申請のあった団体に対して、すべて補助ができました。自発的に後継者が育つようなシステムの構築に課題がありますが、概ね順調に進ちよしています。 				
改善の方策等	保存団体と協力しながら、民俗文化財への理解が深まるような発表の場が更に増えるように努めます。また、自発的に後継者が育つようなシステムの構築を図ります。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価			
細 施策	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実			都市景観課	B			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的建造物の保存修理を計画的に実施し、地区の特性を生かした歴史的風致の維持・向上に努め、重要伝統的建造物群保存地区の保存整備を行います。 地区のPRや関連する事業との調整を行います。 							
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 修理3件 聞信会館 幸町2-15(外壁修理、建具修理、屋根葺き替え、構造補強等) 藤井屋呉服店 元町2-2-5(外観復原、屋根修理等) 出窪家 幸町7-22(外観復原、屋根葺き替え等) 町歩きMAP等パンフレット作成 歴史的風致維持向上計画に関連する新築修景の検討 							
指標及び説明	【指標】 伝統的建造物の修理件数累計			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業における大規模な修理事業の件数				
	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)	
指標の推移			H22	H23	H24	H25	H26	
	件	34	38	41				55
評価の理由	老朽化した伝統的建造物で修理の必要な物件を優先し、年間3~4件程度の大規模修理を継続的に実施しているため、概ね順調に達成しています。							
改善の方策等	伝統的建造物の保存修理は国庫補助を受けているため、計画的な保存修理が行えるよう、常に伝統的建造物所有者の意向把握及び調整を心がけます。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価
細 施 策	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業			文化財保護課	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定されている有形文化財の維持管理を継続的に行い、その保存に努めます。 博物館や関係各課と連携し、その活用を図ります。 				
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定文化財保存(維持管理・保存修理)の補助事業実施件数:17件(前年度比81%) 指定文化財管理報償金支給件数:142件(前年度比101%) 新たに市指定史跡・永島家住宅(旧武家屋敷)を公開。 ※1 指定文化財の保存(維持管理・保存修理)のための補助事案件数/指定文化財件数×100(この場合の指定文化財件数は、民俗芸能又は行事の有形文化財又は道具・重要伝統的建造物群保存地区を除く。)				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	指定文化財保存事業実施率(%)※1	11	11	9	
	川越城本丸御殿・蔵造り資料館・永島家住宅入館者数(人)	93,814	78,769	209,754	
評価の理由	有形文化財の保存のための補助事業は、所有者からの申し出通り補助ができました。また文化財管理者に対し管理報償金を支給して、適切な維持管理ができました。教育委員会が所管する3件の文化財の入館者数も昨年比去年に比べ増加しているため、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	有形文化財の所有者・管理者と協力して、文化財の適切な維持管理と保存を継続して推進し、その上で文化財の活用を推進します。市所有の文化財についても、他課と連携して適切に維持管理し、更に活用が進むように努めます。				

施策の柱	(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			担当課	担当課評価		
細 施 策	⑥河越館跡地等の整備・活用			文化財保護課	B		
施策の内容	郷土学習の場、市民の憩いの場として国指定史跡河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO、大学等と協働してその有効活用を図ります。						
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 史跡整備:発掘調査(700㎡)を実施し、2期整備予定地(約17,000㎡)内の発掘調査を完了しました。また、これまでの発掘調査の成果及び2期整備の課題を整理しました。 活用事業:史跡理解のための活用事業として、地元自治会や保存会、市内高校等と協働し河越流鏑馬を実施しました(見学者2,000人)。 						
指標及び説明	【指標】			【説明】			
	①河越館跡地の史跡公園整備率 ②国指定史跡河越館跡史跡公園活用事業数累計			①指定史跡面積中の公有化面積に占める整備面積の割合 ②河越館跡史跡公園を利用した事業の総数			
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	① %	30.4	30.4	30.4			
② 件	0	1	2				5
評価の理由	2期整備に必要な発掘調査を平成23年度で完了させ、併せてこれまでの発掘調査成果と整備の課題を整理して、2期整備の準備を進めました。また既存の史跡公園の活用についても、地元や市内高校等と協働してイベントを実施し多数の参加者があり、概ね順調に進ちよくしております。						
改善の方策等	2期整備については、河越館跡調査指導委員会及び整備検討委員会で、具体的な整備内容の検討に入り、設計・工事が計画通り実施できるように努めます。史跡の活用として、市主催の他に地元住民や隣接する小学校等が主催するような事業が実施されるように協働に努めます。						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(1)文化財・伝統芸能等の保存及び活用			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化財の保護と活用	文化財保護課	B	B	B
	②文化財保護意識の啓発	文化財保護課	C		
	③民俗文化財の保存と後継者の育成	文化財保護課	B		
	④重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	都市景観課	B		
	⑤指定文化財の維持管理の充実と活用事業	文化財保護課	B		
	⑥河越館跡地等の整備・活用	文化財保護課	B		
学識経験者意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは文化財への意識が薄いので、学校と連携し触れ合う機会を増やしてほしい。 ・川越市の重要伝統的建造物群保存地区は、長く大きく広いという、全国的にも価値の高いものである。 ・今後は、重要伝統的建造物群保存地区を更にアピールしていき、活用について計画的に進めていただきたい。 				B

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価
細 施策	①連携・協働による新たな文化芸術の創造			文化スポーツ部 文化振興課	A
施策の内容	さまざまな団体や人々との連携や協働により、文化芸術の振興を図るとともに、本市にふさわしい新しい文化芸術の創造に努めます。				
平成23年度実績	平成23年度は、①大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル ②市民公募(合唱)による歌劇「カルメン」(抜粋)演奏会 ③川越市民文化祭 ④川越市美術展覧会 ⑤文芸川越の発行等の文化芸術事業を実施しました。				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	文化芸術団体との協働による文化芸術事業件数(件)		4	5	
評価の理由	平成22年度に文化振興課が設置され、市内の文化芸術団体との連携・協働により文化芸術に関わる事業を実施しています。平成23年度には、市民団体との協働により大学ビッグバンド・ジャズフェスティバルが新規事業として実施され、事業は順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	本市の文化芸術関係団体と連携し、本市にふさわしい新しい文化芸術事業を実施することで、今後恒例行事として定着するよう努めていきます。				

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興			担当課	担当課評価		
細 施策	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり			文化スポーツ部 文化振興課	B		
施策の内容	新しい価値観を持つ若い世代の方々が、中心的に活躍してもらう環境を整え、文化芸術事業に積極的に参加・活動してもらうための事業を検討します。						
平成23年度実績	市民団体であるAMF(アマチュア・ミュージック・フェスティバル)実行委員会との協働による、第1回大学ビッグバンド・ジャズフェスティバルを市民会館大ホールにて開催しました。これは、市内にある大学と首都圏にある大学の学生(アマチュア)ジャズバンドによる演奏会で、本市に若い世代が集う機会と音楽を通じて活気のあるまちづくりを進めていこうとする目的で開催しました。						
指標及び説明	【指標】 若い世代の参加事業の取組		【説明】 若い人向けイベント年間開催数				
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	回	0	0	1			2
評価の理由	平成23年度の達成状況は50%ですが、若い世代が参加できる新規事業として地元の中学生・高校生にも参加いただき、2日間にわたり盛大に開催することができました。入場者も延べ1,400人を超し大変好評であり、今後も継続性と発展性が期待できるので概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	若い世代が文化芸術事業へ参加しやすい環境づくりを進めていくため、今後もさまざまな文化芸術に関する事業を企画していきたいと考えております。						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興						担当課	担当課評価
細 施 策	③特色ある文化芸術拠点の整備						文化スポーツ部 美術館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に計画中的の新ホールは、良質な芸術の鑑賞機会を提供するなど、市民はもちろん県西部地域の人々に親しまれる施設として整備します。 市立美術館は、質の高い芸術作品に触れる場とするとともに、市民の文化芸術活動の創作・発表の場として、整備充実を図ります。 							
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の管理運営方法について庁内で検討しました。 東日本大震災の影響や利用団体の解散などで、平成22年度に比べ、稼働率は減少しました。 美術館教育普及事業にボランティアとして参加、来館者へのサービス向上に大いに貢献しました。登録人数 22人(前年度比105%) サポート参加延べ人数 107人 							
指標及び説明	【指標】 ①教育普及ボランティアの活動実施 ②市民ギャラリーの利用促進 ③創作室の利用促進			【説明】 ①美術館市民ボランティアの活動回数 ②市民ギャラリーの利用年間稼働数 ③創作室の年間利用稼働率				
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	①回	0	20	26			20	
	②週稼働	45	49	42			47	
③稼働率/%	46.6	44.0	43.0			65.0		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、平成26年度の完成を目指し概ね順調に進捗しています。 平成23年度と22年度の実績値を比較すると、②は減少・③はほぼ横ばい・①は目標値を上回っており、また新規の利用や市外の利用者も増えており、全体として概ね順調に進捗しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から、西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)に関わる職員を文化振興課に2人配置し、施設整備を進めてまいります。 創作室、市民ギャラリーの利用案内を、広報やホームページなどで、市民にもっと周知します。 教育普及ボランティアについては、美術館からサポートスタッフの貢献度を積極的に発信していくことで参加者を増やします。 サポートスタッフの質的向上を目指し、他館との交流や作家との活動を増やします。 							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(2)川越らしい文化芸術の振興					
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①連携・協働による新たな文化芸術の創造	文化振興課	A	B		
	②若い世代が文化芸術事業に参加しやすいしくみづくり	文化振興課	B			
③特色ある文化芸術拠点の整備	美術館	B				
学識経験者等	<ul style="list-style-type: none"> 良質な芸術の鑑賞機会の提供のため、西部地域振興ふれあい拠点施設に著名なアーティストを呼ぶなど計画的に進めていただきたい。 多くの方が鑑賞できるよう座席数などにも留意してほしい。 文化芸術の振興については、演劇など音楽以外にも芸術に触れることのできるしくみづくりを進めていただきたい。 				B	

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価
細 施 策	①文化芸術が身近にある環境づくり			文化スポーツ部 美術館	B
施策の内容	市民に良質な音楽、舞台芸術の鑑賞、また、市民のための文化芸術の発表と鑑賞など、身近なところで気軽に文化芸術に触れることができるために環境整備に努めます。				
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展を開催し、小特集を組み3ヶ月に一度の展示替えを行いました。 ・タッチアートコーナーにて年4回の企画展示を行いました。 ・特別展を年4回開催しました。 (春)広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 (夏)金沢健一展 (秋)ミロ展 (冬)昭和モダンー藤島武二と新制作初期会員たちー 				
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23	
	常設展観覧者数(人)	42,333	35,323	36,044	
	特別展観覧者数(人)	26,794	21,553	28,110	
評価の理由	平成22年度の常設展、特別展の観覧者が減少しましたが、23年度はともに増えており、概ね順調に進ちよくしています。				
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから大人まで幅広い世代が美術を楽しめる展覧会の開催に努めます。 ・広報、ホームページ、プレスリリースなどを通して、広く周知を図ります。 				

施策の柱	(3)文化芸術に触れる機会づくり			担当課	担当課評価		
細 施 策	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり			文化スポーツ部 美術館	B		
施策の内容	次代を担う子どもたちが文化芸術に親しんでもらうために、鑑賞するだけでなく、文化芸術に触れ、体験する事業を促進します。						
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの美術の芽を育て、美術館と触れ合う機会を増やすためにジュニアアートスクエアを実施しました。参加数 209人(前年度比165%) ・川越市立中学校美術部の祭典を開催しました。参加出品数202点 来場者数1,300人(前年度比186%) ・小中学校県特選美術作品展を開催し、県展へ進んだ優品を一堂に紹介しました。展示点数147点(前年度比99%) 						
指標及び説明	【指標】			【説明】			
	①ジュニアアートスクエアの開催 ②川越市立中学校美術部の祭典の開催 ③小中学生県特選美術作品展の開催			①子どものプログラムの実施回数 ②美術部展に参加している学校の数 ③展覧会の入場観覧者数			
指標の推移	単位	基準値(H21)	実績値				目標値(H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	①回	0	9	12			12
	②校	17	17	18			20
③人	367	360	313			700	
評価の理由	①の平成23年度の実績値は目標値に達しています。また、②の平成23年度の実績値も前年に比べ増加しました。③の入場観覧者数は、展示日数が減ったことにより減少しました。全体として、概ね順調に進ちよくしています。						
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・①については、内容をさらに研究し、プログラムをより楽しく魅力あるものにします。 ・②については、美術活動をより活発にするために、他地区との交流を図ります。 ・③の県特選作品展については、保護者以外の方にも関心を持ってもらうようにPRします。 						

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱		(3) 文化芸術に触れる機会づくり			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①文化芸術が身近にある環境づくり	美術館	B	B	B
	②子どもたちが文化芸術に親しむ機会づくり	美術館	B		
学識経験者等 学意 見	特になし				

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価			
細 施策	①文化芸術活動への支援		文化スポーツ部 文化振興課	A			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を行う団体等への支援を継続するとともに、市民から寄せられる情報を効率的に収集し、適切に発信するよう努めます。 文化芸術の分野で顕著な成果を収めた人や振興に寄与した人への顕彰を行い、市民の文化芸術活動を促進します。 						
平成23年度実績	①川越市文化団体連合会への支援(市民文化祭の開催) ②地区文化祭実行委員会への支援(地区文化祭への補助金交付) ③川越美術協会への支援(市美術展の開催) ④文芸団体等への支援(文芸川越の刊行) ⑤歌劇「カルメン」演奏会の開催(市民支援) ⑥総合文化祭開会式の開催(市民支援)等						
指標及び説明	【指標】 文化芸術の支援		【説明】 文化芸術を発表する機会の年間事業数				
指標の推移	単位	基準値 (H21)	実績値				目標値 (H27)
			H22	H23	H24	H25	H26
	事業	4	5	6			5
評価の理由	文化芸術団体への支援として各種事業を各団体と連携して実施していますので、既に目標値を超えており順調に進ちよしています。						
改善の方策等	文化芸術顕彰要綱については、現在素案の検討中です。なるべく早い段階で要綱を作成するように努めます。						

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進		担当課	担当課評価
細 施策	②文化芸術活動の場の整備		文化スポーツ部 文化振興課	B
施策の内容	市民が身近なところで発表ができ、また、文化芸術の鑑賞ができるよう、施設及び場の整備に努めます。			
平成23年度実績	平成26年度中の完成を目指し、埼玉県との共同事業として、川越駅西口に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の建設が進められているところです。この施設には、約1,700席の新ホールと市民活動支援施設が設置されることになっています。平成23年度は、この市施設の部分の管理運営方法について庁内で検討しました。			
成果実績	項目名(単位)	H21	H22	H23
	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)管理運営検討部会開催件数(件)	0	0	5
評価の理由	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)は、平成26年度中に完成する予定となっています。現在は、既存の施設で市民文化祭、美術展覧会、音楽フェスティバル等の事業を実施しています。拠点施設に新ホールが完成した際には、現在市民会館で開催している文化事業については、新しいホールで開催できるようになりますので、事業については概ね順調に進ちよしています。			
改善の方策等	平成24年度から、文化振興課内に西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の管理・運営に関わる事務を移管し職員を2人配置しました。今後も市民が参加しやすい文化芸術事業と施設整備を進めていきたいと考えております。			

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進						担当課	担当課評価
細 施 策	③文化交流の促進						文化スポーツ部 文化振興課	C
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の意見交換の場を設定し、ネットワークの強化を図ります。 中学生に海外姉妹都市での生活文化を体験させ、相互理解と交流を促進します。 							
平成23年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体相互の交流を図るため、平成23年度は川越市文化団体連合会と川越美術協会、地区文化祭実行委員会の協力により「総合文化祭開会式」を市民会館で開催しました。 セーレム市訪問中学生交流団で22人の派遣を実施いたしました。 							
指標及び説明	【指標】 文化施設の利用者数				【説明】 市民の文化活動を促進するための文化施設の利用者 (ここでいう文化施設とは川越市市民会館・やまぶき会館・川越西文化会館・川越南文化会館・川越駅東口多目的ホール及び川越市立美術館)			
指標の推移	単位	基準値 (H21)	実 績 値				目標値 (H27)	
			H22	H23	H24	H25	H26	
	人	593,643	569,301	537,052			1,000,000	
評価の理由	目標値は、平成26年度中に完成予定の西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)にできる新ホールの利用者数を見込んだ数値です。平成23年度の文化施設の利用者数は東日本大震災等による使用制限もあり減少しています。							
改善の方策等	文化芸術団体のネットワークの強化については、不十分な状況ですが、今後、文化芸術団体の交流の機会を設定し、各団体の情報等も提供できるよう努めてまいります。							

【方向性】 Ⅲ－歴史文化の継承と新しい市民文化の創造
 【施策】 1 文化財の保存・活用と芸術文化活動の充実

施策の柱	(4)文化芸術活動への支援と交流の促進				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①文化芸術活動への支援	文化振興課	A	B	
	②文化芸術活動の場の整備	文化振興課	B		
③文化交流の促進	文化振興課	C			
学識経験者等 意見	特になし				B